

根堀台

第19号



由利中学校 学校便り
平成三十年九月二十九日(土)

発行者 校長 佐々木克也

秋季大会報告会 祝 全県大会出場

第三位 ソフトボール由利・矢島・北合同

剣道女子個人 ○○○○

優勝 柔道女子個人48 Kg ○○○○

(不戦勝)

九月二十二(土)～二十三日(日)に行う予定だった秋季体育大会は、土曜日が雨のため、ソフトテニス、野球が一日順延となり、ソフトボールは一部予定を変更して行われました。結果は、本日発行の学校後援会報でご確認下さい。

野球部は、この大会を通して多くの課題を見付けたと言うことでした。相手は、優勝した鳥海中学校でしたが、多くの失点は自分たちのミスからということ、これからの練習をしつかりやりたいという報告でした。

サッカー部は、第三位になりましたが、残念ながら代表決定性で敗退してしまいました。予選リーグでは、守りが機能していましたが、二位通過となりました。優勝した仁賀保中からは圧倒的な攻撃



力で敗退してしまい、総体でまでやるべき事が明確になったようです。

バレー部は、僅差で競り負けて、上には行けませんでした。能力的には他校に負けていないので一つずつ課題をクリアーして次に臨んでいかなければなりません。

ソフトボール部は、本校○○さんをキャプテンとして三校合同チームで



臨んだ大会でしたが、ミスが目立ち三位に終わりました。単独チームは本荘東だけで他三チームは合同チームで、合同練習が難しい状態でした。県大会は、十月六日～七日に能代市で開催されますが、キャプテンとして全員を引っ張って頑張りたいということでした。

剣道部は、女子個人で、○○さんが三位入賞を果たしました。秋の個人の県大会はないそうですが、来年に向けて素晴らしい頑張りを発揮しました。



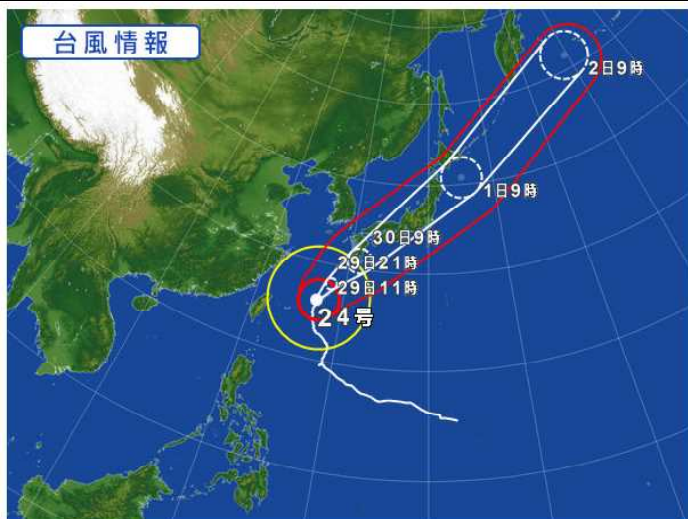
ソフトテニス是一年生二人だけの部員で、男子個人戦に出場しました。初戦で敗退しましたが、一年生大会では、三位となり、全県大会出場切符を得ることができました。二人だけの部活動でしたが、練習では、先輩たちにも手伝ってもらいながら実績を掴み取ることができました。

柔道女子個人は、同じ階級の選手が、本地区にはいないため、軽量をクリアして県大会に進出します。

注意 台風二十四号

明日は、平成最後の由利中祭です。現在日本列島に向かって北上中の台風二十四号は、一日の午前中に秋田県には、最接近するといわれ、由利小学校他市内の小学校は、すでに休校措置をとっています。

本校では、学校祭の振



替休業日のため学校はあ
りません。部活動も全面
休止にします。祖父母同
居のご家庭はいいので
が、核家族でも働き世
帯では、最も台風が接近
する時間帯に子ども達だ
けという場合も考えられ
ます。最悪の場合を前提
にして、親戚や近所のお
宅に子ども達をお願いす
るとなどのしてもらい、危
険回避をお願いします。

校長の独り言

成功

を収めている人が、すべて完全無欠な人間だとは限りません。

完璧に物事をこなせる人はもちろん成功すると思えますが、決してそうではないのに成功している人も多々います。

一体、なぜ成功を収めることができたのでしょうか？成功するため必要なことと言え、「自分で努

力すること」です。

次に大切なことは、「人の助力を得る」ことです。どれだけ素晴らしい能力をもっていたとしても、自分ひとりで成功することはほぼ不可能です。

必ず、その才能を認め、それを広げようとしたり応援したりする誰かが必要になってきます。

私は、秋季大会はサッカー会場にいました。仁賀保中の「成功」には、コーチ、監督・部長はもちろん、家族や地域の方々の応援があったからだと思えました。

成功を目指す人は、とかくミスを絶対に許さず完全無欠な人間を目指しがちです。でも、それ故にプライドが出来てしまい、余裕がなくなってしまうことも多いのです。成功する人に共通しているのは、みんな「心に余裕がある」ということ。失敗したっていいんです。人に笑われたっていいんです。馬鹿にされたっていいんです。むしろ、そのくらい油断させて

において、その間に自分の実力を高めたり計画を進めるくらいの強かさが必要
です。周りからの評価は、成功した時点で必ず良い方向に変わります。だからこそ、成功を目指している間は、周りからの評価を気にしてはいけません。どれだけ笑われても、自分の信念を持ち、強かに成功への道を進みましょう。」と哲学者のモンテスキューの言葉を思い出しました。

本校の各部に若干欠けていたのは、その部分だと思えます。選手達には、おおいなる無限の力を感じます。その力を最大限まで子ども達自身が引き上げるのは不可能です。勝たせてあげるための手立てを、再度考えなくてはなりません。「働き方改革」が学校現場に降りてきています。先生方の部活動への負担を抑えつつ部活動の充実を図らなければなりません。今だ校長室には優勝旗が一本もありません。由利地域の方

々が求めているのは子ども達の「勝利」を通じた輝きであることに間違えはありません。この数年、部活動面で輝きを失っていません。負けて当たり前前の負のスパイラルに陥っている気がしてなりません。保護者の皆さんは歯がゆくて仕方ないのが伝わってきました。(サッカー部関係ですが)仁賀保のサッカー部の監督は、サッカーの指導は一切していません。サッカー部の生徒指導だけです。コーチの活用や充実した施設の利用、計画的な練習及び試合計画が今の仁賀保中の力を造っています。由利でも地域の力は何処にも負けないと思います。全ての部で地域力を最大限に活用し子ども達に輝きを取り戻したいと感じた秋季大会でした。

【連絡】

大規模改修のためご不便をおかけしますが、明日は「由利中祭」です。体育館を地域の皆さんであふれかえりますよう全員でお待ちしております。